



▲全国女子力まちづくりフォーラム

◆県の町村会で東北の被災地を視察しました。視察先は来年の春、職員1名を派遣する予定の宮城県山元町です。仙台空港からバスで現地に向かった私たちは高速道路から見る景色に唖然としました。道路が堤防となり津波被害がほとんどなかった山側に比べて、昔は海が見えないほど民家やビルが建ち並んでいたという海側には、今はただ荒涼とした空地が広がっているだけでした。起重機を使って土壌の塩抜きをしている工事があちこちで見受けられました。海岸からわずか2、30mの距離にあった小学校では、津波が押し寄せた高さに引かれた校舎の壁のラインも生々しく、かろうじて避難した校舎の屋根裏は当時のままでした。この空間で子どもたちがどんな思いでその時間を耐えたのかと考えると言葉も出ませんでした。近くには想像もできない力で捻じ曲げられた車両が山積みになっていたり、墓石が折り重なったままの墓地があったり、1年半経った今もその傷跡はあちこちに残っています。「前から99.9%来るといわれて十分に対策はとってきたはずなのですが、想定外が…」と言われる被災地から学ばせていただいた教訓を、これからの防災対策に活かしたいと思えます。

◆茨城県行方市の市制7周年記念事業として開催された「全国女子力まちづくりフォーラム」の講師として招かれました。行方市は常陸国風土記の舞台であり、歴史遺産も多く残されています。農業が盛んな地域で、昔から女性は農家を支える貴重な働き手でした。播磨町の女性を取り巻く環境とはかなり違うようです。分科会やシンポジウムで意見発表をし、2日間いろいろな分野の方々と交流をさせていただきました。古代からの歴史を持つ行方市と播磨町で、新たな交流の輪を広げていきたいと思っています。

播磨町長 清水ひろ子

文部科学省から表彰されました

●平成24年度生涯スポーツ優良団体表彰を スポーツクラブ21はりまが受賞しました

スポーツクラブ 21 はりま ☎079(437)2201



▲ふれあいスポーツ大会の様子

総合型地域スポーツクラブとして、県内で2番目にNPO法人格を取得したスポーツクラブ21はりまは、会員数・財源規模とも県内最大で、全国との交流も多く、県の総合

型クラブの模範となっています。

また、地域住民のニーズにあった活動を推進し、播磨町との連携による「新しい公共」の担い手として、まちづくりに大きく貢献しているとして、大きく評価されて表彰されました。

●第65回優良公民館表彰を 播磨町中央公民館が受賞しました

中央公民館 ☎079(437)6980



▲老若男女が学ぶ、ふれあう公民館

文部科学省では、公民館のうち、特に事業内容・方法などに工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献していると認められるものを優良公民館として表彰しています。

中央公民館は、「NPO法人まちづくりサポートはりま」が施設運営に携わり、住民が主体となった様々な事業の運営や活動を行っていること、また、人口約3万5千人の町で年間12万人を超す利用者があり、利用率も60%から80%を超す研修室も多いことなどが評価され、このたびの受賞となりました。

表紙や特集で紹介した防災訓練を取材しました。訓練に参加した人々と話している中にも、「津波が迫ってきたとき、どこに避難すればいいのか」という言葉がありました。こんな声を受けて、特集の中に「津波避難ビルについて」という記事を追加しました。あくまでも一時避難の場所ですが、頭の片隅に覚えておいて、いざというときに備えたいと思います。

(宮)

楽屋裏

大中遺跡まつりが盛大に催されました

大中遺跡まつり実行委員会 ☎079(435)5000

●10月27日前夜祭 かがり火コンサート



500人の観客が楽しみました



雰囲気あるステージ

大中遺跡まつりの1週間前に催している「前夜祭かがり火コンサート」は、昨年引き続き第2回目を迎えました。学生ミュージシャンを中心に、大中遺跡公園の秋の夜のイメージにぴったりなプログラムや火踊りなどに、集まった500人の観客は大きな拍手を送っていました。

●11月3日第22回大中遺跡まつり「キラメケ! オボナカ遺跡半世紀 彩大発見!!!」35,000人のにぎわい

好天に恵まれた11月6日午前10時、まつりの開会を告げる銅鐸の音が大中遺跡公園に響きわたり、今年も大中遺跡まつりが盛大に催されました。

おとずれた人は、古代行列、弥生の舞、火起こしの儀などのステージや、古代生活の体験ができる数々のコーナー、また古代ムラ市場と題した模擬店などで思いおもひの秋の一日を楽しんでいました。



火起こしの儀を見守るヒメミヨ



古代生活体験コーナー



古代行列に参加したムラ人たち



冒険あそび場での笑顔



古代の衣食住をテーマにしたステージのダンス

トピックス

まちのわだい

消防団協力事業所 町内で4社認定しました

危機管理グループ ☎079(435)0991

地域の防災力を向上させようと、播磨町では、消防団協力事業所として、町内の事業所4社を認定し、10月29日に町長室で表示証交付式を執り行いました。

この制度は、消防団員の減少を懸念する総務省が平成18年度に全国の自治体に導入を呼び掛けました。企業の協力により消防団活動を強化し、団員確保のきっかけにしたいと考えての制度です。

このたび町で認定事業所となった各社には、勤務時間中の消防団活動への便宜や地域防災のために従業員の消防団への入団促進についてご協力いただきます。

町では、今後も消防団員が活動しやすい状況を整備していきたいと考えていますので、町内の事業所の皆さまには、ぜひご協力をお願いいたします。



▲今回の認定事業所
住友精化株式会社 別府工場
多木化学株式会社 本社工場
住友金属鉱山株式会社 播磨事業所
田岡化学工業株式会社 播磨工場



かわしま あきと
河島爽人くん(北野添)

あいちゃん

兄妹仲良く大きくなってね。

(パパとママより)

1歳
.....
2か月